

# 桜守公園（岡本南公園）

阪急岡本駅裏にある岡本南公園（写真1）。別名桜守公園と呼ばれており、その名の通り春には桜が満開（写真2）となりお花見客で賑わう、とてもきれいな公園。

水上勉の小説「桜守」のモデルとなった笹部新太郎氏の邸宅跡。生前「自分が死んだ後、家は壊してもこの桜だけは残してほしい」と言っていた笹部新太郎氏の遺志により、昭和56年（1981）神戸市によって買い上げられた旧笹部邸は岡本南公園として開園されました。平成元年には隣接地を合わせて拡張され現在に至っています。



↓岡本南公園の秋：静かで物悲しげな雰囲気がある。



ちなみに笹部氏は1960年、岐阜県御母衣ダム建設に伴い、水没の憂き目に遭う筈だった当時樹齢450年の荘川桜の移植に成功し、植物のなかでも移植が難しいとされる桜の移植に成功したことで、世界の植林史上に置いて非常に高い評価を得た人です。（実は今回ちゃんと調べるまで知りませんでした）

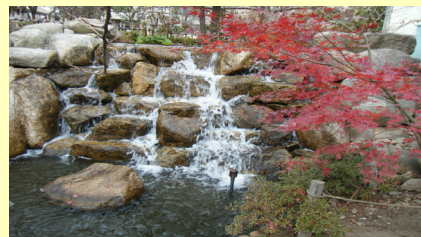
園内には天然記念物のササバザクラをはじめ、エドヒガン、オカモトザクラなど10種約30本の桜が植えられています。昨年はソメイヨシノも開花したそうです☆

4～5月に通学で毎日こんなにきれいな桜が見れるのは甲南大学の学生にのみ許された通学環境ではないでしょうか!?



公園内には小川が流れていて、安らぎを与える。公園奥にあるので立ち寄って見てみよう!!

もみじと滝の共演。日本人にしか分からない物悲しさや美しさがある。失恋したらここで泣きましょう(笑)





# 朝



# 夕



# 晩



甲南大学2号館7階からみた風景です。周りのおしゃれなマンションや橋などが見えてとてもきれいです。写真では若干分かりにくいかもしれませんが。。授業やレポート、友達といることに疲れたら気分転換に遠くを眺めるのもいいと思います(´ω´)b

夜にはマンションの灯かりや橋の青や赤の照明で大学に居ながらプチ夜景を楽しめます!! 恋人や友達と少し話したいときにお勧めのスポットです☆

誰もいなさすぎてちょっと気まずい感じがしますがそんなのは慣れてしまえばこっちのものです!! 住宅地にあるという甲南大学の特権じゃないでしょうか??

ちなみに取材のために何回か来てみて正直教えたくないと思ったのは内緒です(;´ω´)